

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書

2015年8月31日 「名取市 箱塚桜団地仮設住宅集会所」

Happy Doll Project

季節外れの長雨が続き、この日も降ったりやんだりのお天気。前回伺った「箱塚屋敷仮設住宅」から程近い、「箱塚桜団地仮設住宅」へおじゃましました。

こちらの住宅も、津波の被害を大きく受けた閑上地区のみなさんが住んでいます。

さっと説明を済ませると、手際のいいお母さんたちは、布選びから運針へ…と、とにかく作業が早い！一方で、「俺は、針仕事なんてしたことないから！」と遠慮していたのは、唯一の男性でムードメーカーのおとうさん。話を聞くと、震災前は地域の台所としてお肉屋さんを切り盛りしていたとのこと。「きっと、器用に違いない！」と踏んだスタッフに促され、しぶしぶ針を持ってもらおうと…真剣な表情で針を上手に進めるではありませんか。さすがです。

この日、最年長のおかあさんは、手の調子がよくないので、布と型紙選びをした後は、支援員さんとの共同作業。動かせないその手に触れると、柔らかい毛布のようで、私たちの手も、気持ちまでも包み込んでくれるようでした。握らせてもらい、ゆっくりゆっくりさすっていると、いろんな話を聞かせてくれました。

山合いの村から、行商の方のお世話で顔も知らない男性にドキドキしながら嫁いだこと。その男性は、カツオの一本釣りも得意な漁師さんだったこと。子どもに恵まれ、家族を支えるために、彼女はたくさんの仕事をしたこと。暮らした浜はいつも、豊かな恵みをもたらしてくれたこと。80代最後の年、震災で命からがら助かったこと…そして、今の暮らしがあること。

私たちは、訪れるさまざまな現場で、いろんなドラマに遭遇することがあります。海とともに歩んだおかあさんの人生も、私たちの心の奥に響く素敵なお話でした。聞かせてくださり、ありがとうございました。

「ARTS for HOPE」の活動は、作品を作るだけではありません。手を動かせない方も、人の集まる場がちょっと苦手な方も、ぜひ、足をお運びください。その場にいてくださるだけで大歓迎ですよ。お待ちしております。



